よしわら

第85号
昭和41年2月10日

発行　吉原市役所
吉原市今泉43の1
電話(代表)②3111番
編集　市長公室

41.2.11 受付

市民の動き
（1月1日現在）

男	46,045
女	45,265
計	91,310
世帯数	20,814

交通標識

止まれ

悪い自転車

わたなべ　ゆきお

ぼくが大淵第一小学校のうんどう会に行ったとき、ぼくの目のまえで、うんどうじょうをまわっているじてんしゃに、ようちえんの子がひかれました。じてんしゃにのっていた人は、あやまりもしないでなかまのなかにはいっていきました。ひかれた子は、ふくにタイヤのあとがありました。こうちょう先生もそのじこを見て、ちょういいのときはなしてくれましたが、ぼくはじてんしゃの人がひきようだと思いました。あやまりもしないでいくのを見て、ぶんなぐりたくなりました。

それからどちらが悪いかかんがえてみたら、じてんしゃのほうがわるいと思いました。なぜかというと、じてんしゃのほうがすごいスピードで、でたらめに走っていたからです。それにあんなおおぜいの人がいる、せまいところを走っていたからです。

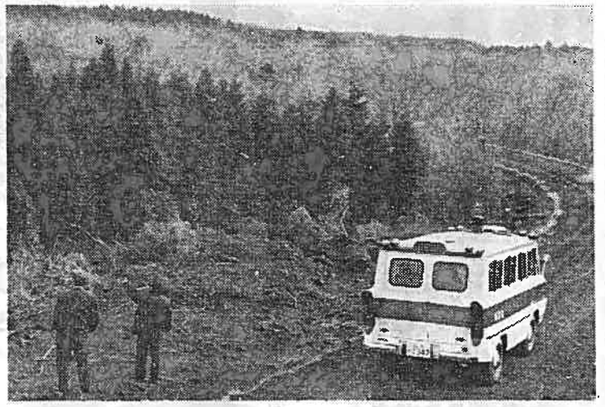
（大淵二小）

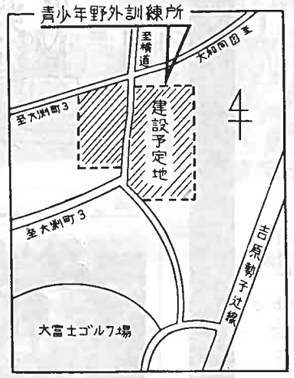
青少年野外訓練所建設

丸火へ3月までに

社会福祉協議会が寄金

一月市議会で決まる





吉原市議会一月臨時会は二十七日開かれ、当局提案の一般会計補正予算について、東名高速道路（吉原沼津線）に係る路線吉原沼津線を使用するため、現在工事がストップしている富士岡地先から江尾の新幹線との交差地点までの延長三三九〇㍍を建設するものです。

なお、用地の買収費だけ東名高速道路が完成後、市が昭和四十三年から五年間で支払うことになっています。

青少年野外訓練所は、工業開発のかげでとかく忘れられがちな青少年対策にと、吉原市社会福祉協議会（小沢鼎会長）が四年まえから集めた六〇〇万円を市に寄金、これに市費二五〇万円を追加してむかしながらの面影をのこす市内大淵字丸火の市有地八四ヘクタールに建設するものです。

計画によると、建設予定地の一部を整地し、木造平屋建の宿舎と倉庫、放事場を各一棟、付帯工事として電灯配線と給水施設がつくられます。工事は二月中旬から始め、三月末には完成させ、七月初めには開所する予定になっています。

宿舎は柔間が二七㍍、奥行七・二㍍で中央にコンクリート通路をつくり床は根張りになっておりこどもなら一度に一六〇人、おとなら六〇人が泊まれます。また一〇〇㍍おきに水道せんをひき青年や中高校生がキャンプできるように、一〇人用のテント一〇張りを用意して貸し出します。

この訓練所は、青少年はもちろん市民ならだれでも利用できます。なおあいている日は市外のひとにも貸せる予定ですが現在規約を作成しています。

写真は青少年野外訓練所が建設される丸火の現地

成人病の予防法

こんな方はいませんか

四十歳から六十歳の働きざかりの人の大敵に成人病があります。

成人病は脳卒中、ガン、心臓病を総称したものです。昭和三十三年以来の国民の死亡順位をみると脳卒中が第一位、ガンが第二位、心臓病が第三位となっており、いかに恐ろしいものかわかります。

成人病は早期発見、早期治療が決め手です。そこでこの恐ろしい成人病の特徴をみてみましょう。

○脳卒中

年令では四十歳から六十歳の男性に多く、季節では二月が最高です。糖尿病、高血圧、過労、熱などが誘因で過労、熱浴や冷浴、せきクサメなどが原因で卒中発作を起します。発作を起したときは動かさずにすぐ医師に連絡をとり応急手当をすることが大切です。

○ガン

四十歳以後の人に多く、季節では二月が最高です。糖尿病、高血圧、過労、熱浴や冷浴、せきクサメなどが原因で卒中発作を起します。発作を起したときは動かさずにすぐ医師に連絡をとり応急手当をすることが大切です。

○心臓病

狭心症は坂を急に登ったり冷たい水で顔を洗ったり、便所でいきんだりしたときに発作が起りやすいといわれています。症状は心臓部やみぞおちに鋭い痛みがあり、顔色は白くなり冷汗が流れます。

心筋梗塞症は肥満症、高血圧、糖尿病の人に多く、発作の数時間まえから不眠、心臓部の痛みなどがあります。発作が起きたら、絶対安静にすることが大切です。

もっとも多く、原因としては遺伝によるものと潰瘍や胃炎が原因で発生しやすいといわれています。ガンの特効薬は年に一回か二回定期的に健康診断を受け早く病気を発見することです。

第4回吉原市長表彰

高橋順作 さんら（自治功労） 9氏

市勢の興隆伸展に著しく功績のあった人や、善行者を表彰する「第四回吉原市長表彰」は市表彰条例にもとずき現市議会議員高橋順作氏（地方自治功労）ら次の九氏に決まりました。この表彰式は、二月十一日市民会館で行なわれ、賞状と記念品が斉藤市長から授与されます。

◇地方自治功労

高橋順作氏（たかはしじゅんさく）（六四）市議会議員　会社社長　東比奈町一

昭和八年吉永村議会議員に当選、以来村議二期市議二期在職通算十五年有余、地方自治に参画、この間建設常任副委員長、愛鷹山開発特別委員長を始め、数多くの特別委員会委員として活躍、地方自治に貢献をした。

◇体育振興功労

中井浜次郎氏（なかいはまじろう）（五五）市町　議会議員　旅館飲食業　本町一

昭和二十三年吉原市に体育協会を創設し、市民体育の振興と発展のために熱情を注ぎ、今日の基盤を確立した。また市議会議員として通算十二年その間議長、副議長、各種委員会委員長を歴任し体育の振興と地方自治仲展に多大の貢献をした。

◇産業振興功労

山下義男氏（やました　よしお）（七三）吉永農協組合長　富士岡渋脇

昭和十一年吉永農業協同組合理事に当選。二十四年組合長。在職三十年よく農協経営に非凡の手腕を発揮し、吉永農協の不動の基盤を確立した。また昭和三十三年には市農業委員に選出され、農業経営の合理化と農業経済発展のため多大の貢献をした。

◇公共事業功労

植松豊作氏（うえまつとよさく）（七五）会社社長　本町一

昭和三十二年本町通り歩道新設促進期成同盟会長として商店街育成と歩道設置による新しい街づくりに尽力。昭和三十五年に不燃化都市建設促進協議会を結成し、自ら会長に就任するなど、都市計画事業の伸展に献身的努力を傾注し、市防災街区造成事業に貢献した。

◇社会福祉功労

小沢鼎氏（おざわ　かなえ）（六〇）会社会長　宇東川町三

昭和三十二年社会福祉協議会長に推せんされ、以来共同募金運動活動に献身的奉仕をし、また、生活安定のためのハートビル運動の会長として地域社会、薄幸なひとびとへの福祉と民生安定に多大の貢献をした。

◇民生安定功労

渡辺仙太郎氏（わたなべせんたろう）（六一）会社社長　仲町

昭和二十七年から吉原市遺族会長として、遺族世帯の厚生保護と正しい生活の指導、遺族青年部の育成などに積極的に尽力。昭和三十二年には教育委員に推せんされ、学校、社会教育の充実に、地区青少年の指導に、社会の福祉民生安定に貢献した。

◇災害防護功労

漆畑雅治氏（うるしばたまさじ）（六八）会社会長　東国窪

昭和二十五年吉原市消防団長に就任。以来団の和と団結束の育成、防火思想の普及徹底、団員の教養、資質の向上に努め住民の生命財産を保護し地域の災害防護に尽力した。

◇治安維持功労

鈴木三雄氏（すずき　みつお）（五〇）警察官（巡査部長）　上田端

昭和十四年七月県警察官を拝命し、同年十一月三十日吉原警察署勤務となり以来二十六年間、署所在地勤務を振り出しに吉永、原田など各駐在所派出所を歴任しそのほとんどを外勤警察官として第一線にあり、卓越した実務能力で地域社会の治安維持に多大の貢献をした。

◇公益事業功労

松本為吉氏（まつもとためきち）（七九）会社社長　大和町

昭和七年昭和通り、日吉町一帯の湿田地帯の開発に着目、昭和通り道路の大半の用地を提供しこれを完成。さらに吉原公園東入口道路を開設、日吉町三丁目から弥生町通りに通ずる道路を新設するなど、当時の主要道路開設に私財を惜まず尽力した。昭和十一年には松本水道をつくり、住民の生活向上に貢献をした。

市長表彰される方々

小沢　鼎氏

渡辺仙太郎氏

高橋　順作氏

漆畑　雅治氏

中井浜次郎氏

鈴木　三雄氏

山下　義男氏

松本　為吉氏

植松　豊作氏